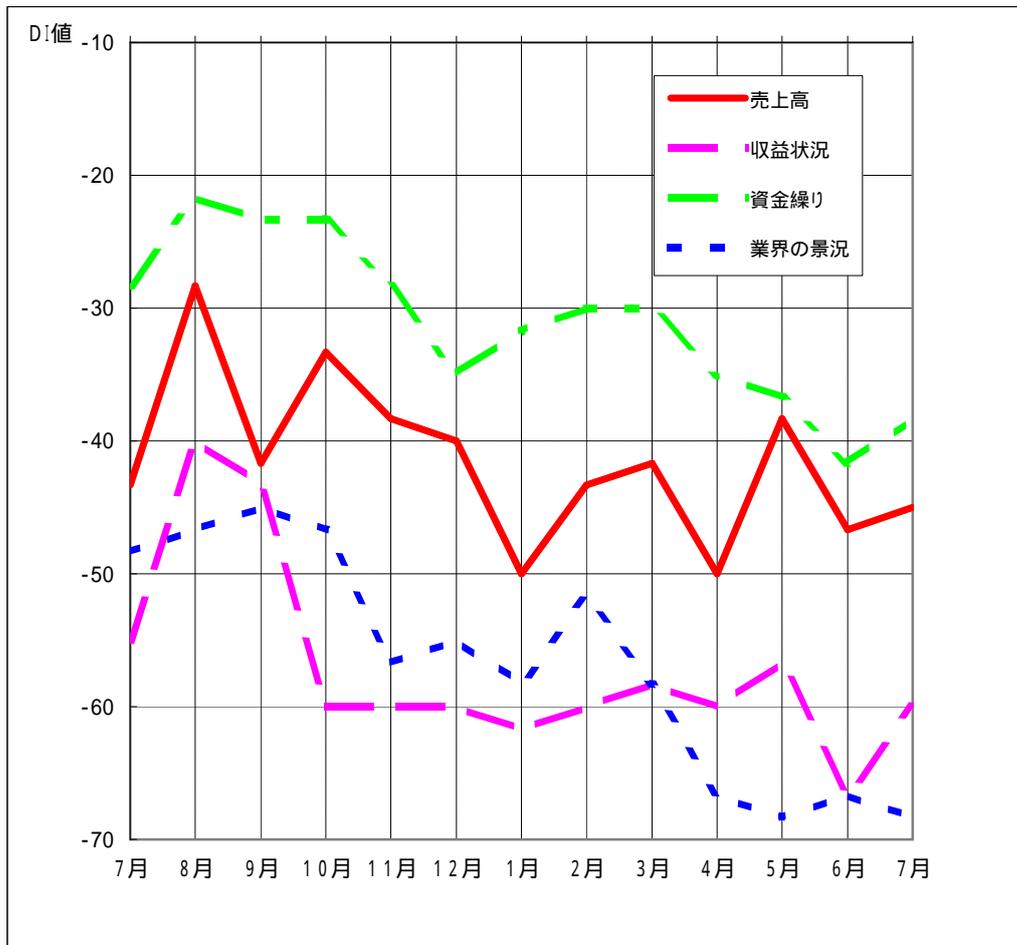


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成19年7月～平成20年7月

単位:ポイント



	H19					H20							
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	-43.3	-28.3	-41.7	-33.3	-38.3	-40.0	-50.0	-43.3	-41.7	-50.0	-38.3	-46.7	-45.0
収益状況	-55.0	-40.0	-43.3	-60.0	-60.0	-60.0	-61.7	-60.0	-58.3	-60.0	-56.7	-66.7	-60.0
資金繰り	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-28.3	-35.0	-31.7	-30.0	-30.0	-35.0	-36.7	-41.7	-38.3
業界の景況	-48.3	-46.7	-45.0	-46.7	-56.7	-55.0	-58.3	-51.7	-58.3	-66.7	-68.3	-66.7	-68.3

7月のDI値は、中越沖地震の影響で各DIとも大幅な落ち込みとなった前年同月より更に全項目で悪化した。「売上高」は前年同月より1.7ポイント悪化し、マイナス45.0に推移、「収益状況」においては5.0ポイントの悪化でマイナス60.0となった。「資金繰り」については10.0ポイントの悪化でマイナス30%台に推移、「業界の景況」においては20.0ポイントの悪化で、マイナス60%台となった。

今7月期は本年前月期に比べ「売上高」「収益状況」「資金繰り」は上向いたが、「業界の景況」は本年4月以降低位をほう状態が続いている。

組合の特記事項からは、製造業・非製造業ともに、原材料価格の高値推移や燃料費の高騰をはじめとする経費コストの増に加え諸物価高騰に伴う買い控え等により「売上高」減、「収益状況」悪化、「業界の景況」悪化と厳しい状況が続いていることが窺える。